

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 立飛企業株式会社

コード番号 8821 URL <http://www.tachihi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村山 正道

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長兼経理部長

(氏名) 美馬 慎一郎

TEL 042-536-1111

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	5,616	4.8	3,364	2.2	3,659	1.3	2,026	△4.6
21年3月期第3四半期	5,359	—	3,292	—	3,610	—	2,124	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	173.55	—
21年3月期第3四半期	181.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	53,613	47,303	87.9	4,036.87
21年3月期	52,195	45,682	87.3	3,899.28

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 47,150百万円 21年3月期 45,542百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	55.00	55.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,374	3.4	4,156	△1.1	4,506	△1.9	2,630	△2.3	225.20

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 14,004,705株 21年3月期 14,004,705株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 2,324,703株 21年3月期 2,325,065株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 11,679,374株 21年3月期第3四半期 11,681,471株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成21年4月1日～平成21年12月31日)におけるわが国経済は、米国の金融危機に端を発した世界同時不況の影響による収益環境の悪化は持ち直しつつありますが、設備投資の減少、失業率が高水準にあるなど景況感は依然として厳しい状況で推移しました。

不動産賃貸業におきましては、新築オフィスビルの空室率の上昇が続くなど市況は低迷しており、多摩地域のビル・倉庫等の需要も依然として厳しい状況となっております。

このような状況下におきまして、当社グループは東京都立川市泉町を基盤として、事務所用建物、倉庫及び土地の不動産賃貸業等の経営を積極的に行ってまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、その他の事業は減少しましたが、不動産賃貸関連事業が増加したことにより、前年同期比4.8%増の5,616百万円、営業利益は、修繕費が増加したこと等により、前年同期比2.2%増の3,364百万円、経常利益は、前年同期比1.3%増の3,659百万円、四半期純利益は、投資有価証券評価損が増加したこと等により前年同期比4.6%減の2,026百万円となりました。

業種の種類別業績は次のとおりであります。

(不動産賃貸関連事業)

当関連事業の売上高は一部テナントで解約及び減額改定がありました。新規商業施設の寄与等により前年同期比6.1%増の5,378百万円、営業利益は修繕費が増加したこと等により前年同期比1.8%増の3,283百万円となりました。

(その他の事業)

当関連事業の売上高は清掃受託料・廃棄物管理料等の売上高、自動販売機による飲料水・たばこ売上高が減少したこと等により前年同期比18.5%減の237百万円、営業利益は労務費が減少したこと等により前年同期比18.8%増の80百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末(平成21年3月末)と比べ1,417百万円増加し53,613百万円となりました。主に、投資有価証券3,944百万円の増加、有価証券2,599百万円の減少等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末(平成21年3月末)と比べ203百万円減少し6,309百万円となりました。主に、流動負債の未払法人税等472百万円の減少、その他に含まれる設備関係支払手形209百万円の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末(平成21年3月末)と比べ1,621百万円増加し47,303百万円となりました。主に、利益剰余金1,384百万円の増加、その他有価証券評価差額金228百万円の増加等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績は概ね予想どおりに推移しており、平成21年11月5日発表の通期の連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

5 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,410	9,510
受取手形及び売掛金	33	27
有価証券	9,000	11,600
商品及び製品	7	5
繰延税金資産	92	92
その他	66	94
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	18,610	21,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,238	7,581
機械装置及び運搬具(純額)	29	36
土地	546	546
建設仮勘定	210	—
その他(純額)	102	120
有形固定資産合計	8,126	8,284
無形固定資産		
	2	3
投資その他の資産		
投資有価証券	23,822	19,878
繰延税金資産	45	184
長期預金	2,950	2,450
その他	100	110
貸倒引当金	△46	△46
投資その他の資産合計	26,872	22,577
固定資産合計	35,002	30,865
資産合計	53,613	52,195

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	260	141
未払金	70	127
未払法人税等	442	914
賞与引当金	27	55
前受金	579	566
その他	362	66
流動負債合計	1,742	1,872
固定負債		
長期未払金	99	99
繰延税金負債	681	661
退職給付引当金	271	292
長期預り保証金	3,503	3,582
その他	11	6
固定負債合計	4,566	4,641
負債合計	6,309	6,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,273	1,273
資本剰余金	769	769
利益剰余金	45,254	43,869
自己株式	△407	△402
株主資本合計	46,889	45,509
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	260	32
評価・換算差額等合計	260	32
少数株主持分	152	139
純資産合計	47,303	45,682
負債純資産合計	53,613	52,195

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	5,359	5,616
売上原価	1,780	1,959
売上総利益	3,578	3,656
販売費及び一般管理費	286	291
営業利益	3,292	3,364
営業外収益		
受取利息	149	122
受取配当金	65	40
持分法による投資利益	100	128
その他	2	3
営業外収益合計	318	294
営業外費用		
雑支出	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	3,610	3,659
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	15	4
訴訟関連損失	—	25
投資有価証券評価損	59	223
特別損失合計	75	252
税金等調整前四半期純利益	3,535	3,406
法人税、住民税及び事業税	1,405	1,346
法人税等調整額	14	20
法人税等合計	1,420	1,366
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△9	12
四半期純利益	2,124	2,026

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)
該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 役員の変動

代表取締役の変動(平成22年1月31日付)

退任代表取締役

代表取締役社長 高橋 勝寿(平成22年1月31日付けで、取締役も辞任いたしました)

なお、代表取締役 専務取締役でありました、村山 正道が平成22年2月1日付で代表取締役社長に就任しております。

詳細は別途、平成22年1月29日付にて開示いたしました「代表取締役の変動に関するお知らせ」のとおりであります。

(2) 訴訟

平成21年6月29日開催の当社第113回定時株主総会における取締役5名の選任決議に関し、株主であるロイヤルバンクオブカナダ・トラストカンパニー(ケイマン)リミテッド及びエフィシモキャピタルマネージメントパートナーズ・エルティエーディーが当社を被告として平成21年9月18日付けで、東京地方裁判所において上記決議の取消しを求めて訴訟を提起しております。